

# 胃のポリープ専門

内科



福本 学

胃のレントゲン健診でポリープを疑われ内視鏡を受けられる方も少なくありません。ポリープには良性のもの、良性と悪性の境界病変とされるもの、悪性のものがあります。管状の臓器の表面にある隆起した病変をポリープとよび、良性の病変の場合に使われることが多いのですが、部分的にがんになったものもポリープとよばれます。胃底腺ポリープや過形成性ポリープなど良性のポリープはほぼ治療は不要です。境界病変は腺腫とよばれ、腺腫はがん化しやすい

と考えられています。がんそのものが良性ポリープと似た形で大きくなるものもあります。病変の性質を判断するには、組織を一部採取して、顕微鏡で調べる病理検査が決め手になりますが、内視鏡機器の進歩により、観察に使う光の波長を変えたり、拡大機能を使って表面の微細な特徴を観察することも可能となり、診断の精度の向上に役立っています。

内科

新百合山手福本内科

☎955-8877

麻生区万福寺6-7-2

メディカルモリノビル2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

